



101講座 世界遺産の都市物語 一嵐の時代の世界文化遺産を訪ねて

開催日:金曜日14:00~15:30 回数:全4回 受講料:6,000円 定員:24名 申込締切日:5/10(金)



講師:市川 昌

江戸川大学名誉教授
日本生涯教育学会会員
日本メディア学会(前日
本マス・コミュニケーション
学会)会員

日本とアジア中東地域の世界文化遺産を考えると、国家の近代化と独立を支えてきた政治文化思想と産業経済遺産の関係が問われます。2015年ユネスコに登録された「明治日本の産業革命遺産」は、吉田松陰の思想と山口県萩市の反射炉や三菱長崎造船所、八幡製鉄所などへの影響が認められました。群馬県の富岡製糸場のフランス式製糸は、日本のシルクロードといわれる養蚕農家や絹織物とどう関係したのか。台湾の台北市にある故宮博物館の中国4千年の秘宝は、戦後に大陸中国の北京博物館から移転した問題をかかえ、中東イスラエルのエルサレム市は、ユダヤ教の嘆きの壁・キリスト教のイエスの受難の道・イスラム教の黄金のモスクがある三大宗教の交わる都市です。世界文化遺産の各地を訪ねて、歴史と文化が交流する魅力と保存の課題について考えます。

- 第1回 5月17日 ◇萩と長崎の明治維新と産業文化遺産
- 第2回 5月24日 ◇富岡製糸場と日本のシルクロード
- 第3回 5月31日 ◇台北と北京の故宮博物館
- 第4回 6月07日 ◇エルサレムーユダヤ教・キリスト教・イスラム教の聖地

[講師プロフィール] 東京教育大学卒業後、NHK番組制作局に入局しテレビディレクターとして教育・教養番組を制作。「世界の大学」など海外取材とともに、東南アジアおよび中南米諸国で教育番組制作を指導。文部省放送教育開発センター助教授を経て、江戸川大学教授となる。伝統文化や歴史遺跡など映像記録をもとに世界文化遺産や美術史などの資料を調査して、東西文化国際交流の歴史を研究してきた。現在は生涯学習の場で映像資料を活用した講座を実施している。

102講座 祭の構造と構成 一儀礼への視角 <儀礼研究初級編>

開催日:木曜日14:00~15:30 回数:全4回 受講料:6,000円 定員:20名 申込締切日:5/16(木)



講師:宇野 正人

江戸川大学名誉教授

約30年前に実施した祭祀祭礼操業調査の結果、日本に伝統的な祭が約30万件存在していることが判明しました。全国各地に存在する30万件の祭は、その地域の特色を必ず有し、祭に携わる人たちのアイデンティティとなっています。全国各地の町々でおこなう祇園祭や村々でおこなう豊年祭等が、その一例として挙げられます。

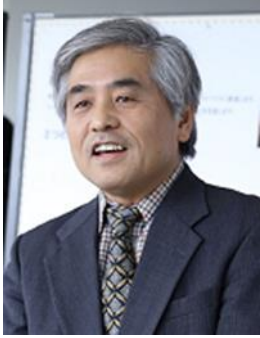
数多く存在する祭の意味や意義、あるいは構造や構成を中心に諸々の問題について考えるのが本講座の目的です。

- 第1回 5月23日 ◇はじめに 祭と儀礼 / 祭の意味と意義 / 祭と文化 / 祭と社会 / 祭と季節
- 第2回 5月30日 ◇村(家連合)の祭-季節、意義、構造、構成、形態
- 第3回 6月06日 ◇町(町組連合)の祭-季節、意義、構造、構成、形態
- 第4回 6月13日 ◇まとめ 持続する祭 / 変化する祭 / 祭と政治 / 祭と経済 / 祭と歴史

[講師プロフィール] 専門は日本民俗学・宗教学。研究分野は、日本の祭りと近代日本の宗教史。日本全国に存在する祭りの悉皆総合調査、そのデータベース化という大規模な調査研究の立案、実施、完成などを手がけた。他方、全国私立大学共通の「情報基礎教育シラバス」作成に従事し、インターネット、マルチメディア分野を担当。

103講座 新聞とネットで読み解く国際情勢 — 崩れ行く国際秩序と「世界選挙年」

開催日:月曜日14:00~15:30 回数:全4回 受講料:6,000円 定員:24名 申込締切日:5/13(月)



講師：大江 志伸

江戸川大学名誉教授
読売新聞元論説委員

米欧に日本などを加えた西側諸国を軸とする国際秩序が大きく揺らいでいます。ロシアの侵攻によるウクライナ戦争の長期化に加え、昨年後半には中東パレスチナでガザ紛争が勃発しました。政治、経済、価値観、宗教、歴史認識、環境といったあらゆる分野で各国の利害が錯綜する中、今年是世界各地で選挙が目白押しです。各地域の重要選挙を分析しながら、今後の国際情勢を展望します。

- 第1回 5月20日 ◇台湾総統選挙の結果を読み解く・きょう5月20日新政権発足
- 第2回 5月27日 ◇韓国総選挙の結果を読み解く・窮地の尹政権
- 第3回 6月03日 ◇プーチン再選の意味を読み解く・ウクライナは耐えられるか
- 第4回 6月10日 ◇米大統領選挙の中間情勢を読み解く・「もしトラ」に備えよ?!

[講師プロフィール] 1976年4月読売新聞東京本社入社。長野支局、本社編集局地方部、経済部、外報部(現・国際部)勤務のあと、韓国延世大学に社命留学し、韓国ソウル支局長、中国北京支局長(中国総局長を兼務)、タイ・バンコク駐在のアジア総局長として海外報道に長く携わる。帰国後は論説委員として社説、時事コラム、一面コラム「編集手帳」を担当し、この間、膨大な署名記事や著作物を出版。2006年4月に本学マス・コミュニケーション学科の教授として就任。マスコミ業界への就職を希望する学生に対して、「新聞論」「国際報道論」などの科目を中心に教鞭をとる。現在は、読売新聞社友、BS松竹東急・放送番組審議会委員長としても活動中。

104講座 なぜ犬猫を食べてはいけないのか？ — 食文化から日本・日本人・人間が見えてくる

開催日:月曜日14:00~15:30 回数:全4回 受講料:6,000円 定員:20名 申込締切日:6/10(月)



講師：斗鬼 正一

江戸川大学名誉教授

「人間は食べる葷である」。動物が生きるには食べることからです。ところで「人間は考える葷」でもあるのですが、これが実に変です。動物は本能のままに食べるのに、人間はそのまま食べられるものでも料理し、1日3食で夕食にトーストは食べないとか、迷い箸はだめとか、食べてすぐ横になるなどか、何を食べるべき、何は食べてはいけないなどと決めたり、郷土料理やおふくろの味を懐かしがったりします。おまけにその中身は民族によって、地方によって様々です。ですから文化人類学の目で、この変な動物の食文化を探っていけば、日本人、人間、そして自分という食べる葷の正体が見えてきます。

「チョコちゃんに叱られる!」などメディアでお馴染み「鬼先生」と、身近な日常生活の謎を入口に、知的好奇心全開の“人間探検”をしてみませんか。

- 第1回 6月17日 ◇なぜマサイ人は牛乳が主食、関西人は鰻の尾頭付きなのか?—人間にとって食とは
- 第2回 6月24日 ◇なぜ「ウシ丼」でなく「ギユウ丼」なのか?—人間にとって料理とは
- 第3回 7月01日 ◇なぜ木村安兵衛はあんぱんを発明したのか?—日本人にとって異文化食とは
- 第4回 7月08日 ◇なぜめっちゃ食いた千尋の両親は豚になったのか?—人間にとってマナーとは

[講師プロフィール] メディアでおなじみの「鬼先生」。「楽しくなければ学問じゃない」をモットーに、「チョコちゃんに叱られる!」「世界一受けたい授業」などで文化人類学の楽しさを伝え、「NHKニュース7」などでエスカレーターは歩かないでと訴える唯一のエスカレーター文化研究者。江戸川大学名誉教授。元明治大学大学院・文学部兼任講師。

105講座 英語で詩を読む 一花のある風景

開催日:火曜日14:00~15:30 回数:全4回 受講料:6,000円 定員:20名 申込締切日:5/21(火)



講師:鈴木 哲平
江戸川大学准教授

講師:水口 小百合
江戸川大学専任講師

英語圏では昔から、詩が最も重要な文学ジャンルとされてきました。詩は小説とちがいで、一字一句を丁寧に吟味していきます。また、意味を理解するだけでなく、その言葉の音やリズムに耳を澄ませ、立ち上がるイメージを思い描く—詩を読む楽しみはここに 있습니다。

英語のごく基本的な文法や語彙の知識は必要ですが、これらの詩は、辞書があれば十分読むことができます。講師は必要に応じて知識もお伝えしつつ、教室では、一人の読者として、みなさんと一緒に詩を味わい、意見を交わしてみたいと思っています。

※第1・2回の講義は鈴木哲平講師、

第3・4回の講義は水口小百合講師が担当いたします。

持ち物:辞書(スマートフォン、電子辞書、紙の辞書など)なくても構いません。

第1回 5月28日 ◇スイセン: William Wordsworth, "The Daffodils"

第2回 6月04日 ◇バラ(1): William Butler Yeats, "The Rose of the World"ほか

第3回 6月11日 ◇バラ(2): Amy Lowell, "Petals" ほか

第4回 6月18日 ◇ヒナギク: Emily Dickinson, "If I should die"

[講師プロフィール] 鈴木哲平講師:東京大学大学院でフランス文学・英文学を専攻。博士号(文学)取得。スイス、フランス、イギリスの大学院に留学。2016年より江戸川大学に着任。訳書に『新訳サミュエル・ベケット戯曲全集2』(白水社、共訳)など。水口小百合講師:立教大学大学院で現代アメリカ詩を主に研究。在学中に米国留学にて英語教授法を専攻。2020年より江戸川大学に着任。現在はアメリカ女性詩人を中心に研究を行っている。

106講座 より良く生きるための認知機能の使い方

—自分の認知機能の働きを知り意識してみよう

開催日:水曜日10:00~11:30 回数:全4回 受講料:6,000円 定員:20名 申込締切日:5/22(水)



講師:西村 律子

江戸川大学准教授
江戸川大学睡眠研究所次長

この講座では、私たちの認知機能についてお話しします。いつも当たり前に使っている認知機能ですが、その仕組みを知り、改めて意識することで、私たちが持つ機能のすばらしさを実感してもらえることでしょう。この講座が、よりよく生きるための認知機能の使い方を考えてもらう機会になればと思っています。

※認知症に関する内容の講座ではありません。あらかじめご承知おきください。

第1回 5月29日 ◇大脳の性質と処理資源の使われ方—脳のエネルギーを上手に使うためには?

第2回 6月12日 ◇注意のシステム—効率的な情報処理のために必須な機能

第3回 6月26日 ◇記憶のシステム—「覚えて思い出す」ことはどうやっているの?

第4回 7月10日 ◇まとめ—よりよく生きるための認知機能の使い方

[講師プロフィール] 愛知淑徳大学で博士号を取得後、日本学術振興会特別研究員、科学技術振興機構 ERATO岡ノ谷情動情報プロジェクト研究員を経て、2017年より江戸川大学に着任。また、2023年より江戸川大学睡眠研究所次長を務める。睡眠不足時の認知機能の変化や、他者の存在が認知機能に与える影響などを研究している。

お申込み・お問合せ先:江戸川大学駒木学習センター

04-7156-7715(平日9時~17時)
stcenter@edogawa-u.ac.jp



☎ Web申込み
はこちらから

107講座 眠りの不思議を科学する ー健康な眠りとはなにか？夢は神のお告げか？

開催日:火曜日14:00~15:30 回数:全4回 受講料:6,000円 定員:20名 申込締切日:6/18(火)



講師：福田 一彦

睡眠が大事だと考える方は多いですが、眠りを多くとる事を強調しすぎると、寝だめや長い昼寝などの問題行動を招き、むしろ健康に害を及ぼします。睡眠の背景にある生物時計の理解を通して規則正しい睡眠について知ることで、より健康的な生活につながります。また、夢に興味を持ち、夢が深層心理からの信号であると考えている方も多いようですが、夢が脳からのランダムな刺激による、あまり意味のない現象であるという見方もあります。金縛りや明晰夢という不思議現象にも触れながら、夢の「正体」についても考えていきたいと思います。

第1回 6月25日 ◇睡眠とは何か（睡眠に関する基礎的知識）

第2回 7月02日 ◇睡眠を生物リズムから考える

第3回 7月09日 ◇健康的な睡眠を取るにはどうすれば良いか

第4回 7月23日 ◇夢という体験はなぜ生じるのか

江戸川大学特任教授
医学博士・日本睡眠改善
協会理事

〔講師プロフィール〕早稲田大学大学院を終了後、東邦大学にて医学博士を取得。国立福島大学の教育学部と共生システム理工学類で20年以上教員として従事。2010年に江戸川大学教授となり、人間心理学科長、睡眠研究所長、図書館長を務め、現在は江戸川大学特任教授。睡眠研究者で、特に睡眠の発達や睡眠中の精神現象（夢や金縛り）の研究を行っている。

202講座 小筆で書く ー初歩から学んでみましょう！

開催日:水曜日10:00~11:30 回数:全12回 受講料:21,600円 定員:15名 申込締切日:4/3(水)



講師：村竹恵子

書家

書道、初心者のためのクラスです。
小筆の基礎から学び、のし袋やはがきなどに自分の名前が書けるようになることを目標に進めてまいります。单元ごとにお手本を用意します。一緒に楽しく練習しましょう。

- 第1回 4月10日 ◇基本線の練習
- 第2回 4月24日 ◇基本線の練習
- 第3回 5月08日 ◇ひらがなの練習
- 第4回 5月22日 ◇ひらがなの練習
- 第5回 6月05日 ◇カタカナの練習
- 第6回 6月19日 ◇カタカナの練習
- 第7回 7月03日 ◇漢字の基礎練習
- 第8回 7月17日 ◇漢字の基礎練習
- 第9回 8月07日 ◇名前の練習
- 第10回 8月28日 ◇名前の練習
- 第11回 9月11日 ◇のし袋に名前を書く
- 第12回 9月25日 ◇はがき・封筒に名前を書く



持ち物：小筆、墨、硯、文鎮をご持参ください。
※すでにお持ちの物があればご持参ください。これからご準備される場合は、初回講座時にご相談いただき、その後ご準備ください。

〔講師の主な受賞歴〕
謙慎書道会展 秀逸
読売書法展 秀逸
東京書作展 特選
毎日新聞主催全国年賀はがきコンクール「日本名誉大賞」



205講座 スケッチから始めよう ―水彩絵の具に親しむ

開催日:土曜日10:00~11:30 回数:全12回 受講料:18,000円 定員:15名 申込締切日:4/6(土)



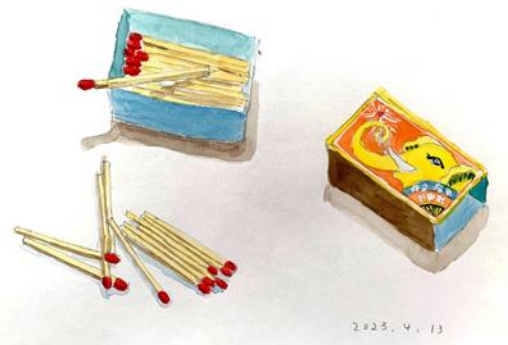
講師：村竹清
アーティスト

水彩絵の具、初心者のための講座です。

- ・色(三要素・三原色・対比・配色)の練習
- ・構図と構成
- ・遠近法
- ・スケッチ(身近な小物を描く)練習 をします。

水彩スケッチを基礎から始めてみませんか。※材料費別途 1,500円(税込)がかかります。

第1回	4月13日	◇色とスケッチ
第2回	5月11日	◇色とスケッチ
第3回	5月25日	◇色とスケッチ
第4回	6月01日	◇構図とスケッチ
第5回	6月08日	◇構図とスケッチ
第6回	6月22日	◇構図とスケッチ
第7回	7月06日	◇遠近法とスケッチ
第8回	7月20日	◇遠近法とスケッチ
第9回	8月03日	◇遠近法とスケッチ
第10回	8月31日	◇水彩画を描く
第11回	9月14日	◇水彩画を描く
第12回	9月21日	◇水彩画を描く



持ち物：水彩絵の具(12色)・水彩筆(大・中・小)・筆洗・鉛筆HB/H各1本
水彩紙(スケッチブック)・ねり消しゴム

※すでにお持ちの物があればご持参下さい。これからご準備される場合は、初回講座時にご相談いただき、その後ご準備ください。

[講師プロフィール] 多摩美術大学絵画学科卒業。
主な展覧会:神奈川県民ギャラリー、ギャラリーなつかなどで個展

- | | | | | |
|-------|----------------|----------------|------|----------|
| 201講座 | 奏でる書道(継続) | 火曜日10:00~11:30 | 全12回 | 講師:村竹 恵子 |
| 203講座 | 奏でる書道(継続) | 金曜日10:00~11:30 | 全12回 | 講師:村竹 恵子 |
| 204講座 | 奏でる書道(継続) | 土曜日10:00~11:30 | 全12回 | 講師:村竹 恵子 |
| 206講座 | 水彩スケッチを楽しむ(継続) | 土曜日12:30~14:00 | 全12回 | 講師:村竹 清 |

上記講座は開講予定ですが、継続の受講生が対象のため今期募集を行いません。ご了承ください。

江戸川大学へのアクセス

- つくばエクスプレス線、東武アーバンパークライン「流山おおたかの森駅」東口バスターミナルより、無料スクールバスをご利用いただけます。
- スクールバスの運行予定は、大学Webページにてご確認ください。
<https://www.edogawa-u.ac.jp/koutuu/>
- 自転車でお越しの際は正門と東門付近に駐輪場があります。キャンパス内の自転車通行は禁止されていますのでご注意ください。



バスの運行状況はこちら

江戸川大学駒木学習センター

〒270-0198 千葉県流山市駒木474

Tel: 04-7156-7715 Mail: stcenter@edogawa-u.ac.jp